DIRECTSTAR

NEC

Aterm® DR30F
Aterm® DR35FH

スタートガイド

はじめに

本商品をご使用していただくにあたり、下記の内容をご確認ください。

● ADSLのサービス提供地域であっても、設備・回線等の都合により本商品をご利用になれない場合があります。

● 遠隔検針（ノーリンギング通信サービス）や警備保障、回線自動選択装置（ACR）等の電話回線を利用したサービスを利用されている場合、それらのサービスに支障をきたす場合があります。

● ADSL区間の距離や設備状況、他回線からの影響、お客様宅内で接続されている通信設備（ACR等）等の影響により、最大通信速度が当初より得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。

● ADSLによるインターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入及び情報搾取等の危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールする等の対応をお願いいたします。

● 本商品には、「AtermDR30F/GSおよびDR35FH/GS」と「AtermDR30F/CEおよびDR35FH/CE」の二つのタイプがあり、それぞれ、ご利用になれるADSLサービスが異なります。接続可能なADSLサービスとタイプが異なる場合は本商品はご利用になれません。

ご使用にあたってのお願い

●電波障害自主規制について

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

●ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載･無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り･記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）Aterm は、災害時においてライフラインと直結した通信手段の確保を意図した設計がされていますが、せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

⚠ **警告**：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意**：人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP **お願い**：本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

■　絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

設置場所

●風呂、シャワー室への設置禁止

風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。

●水のかかる場所への設置禁止

水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。

こんなときは

●発煙した場合

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、入手元に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●水が装置内部に入った場合

万一、内部に水などが入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、入手元にご連絡ください。
そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。

●異物が装置内部に入った場合

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、入手元にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠ 警告

●電源コードが傷んだ場合

電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、入手元に修理をご依頼ください。

●電源コードの取り扱い注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災・感電の原因となります。

また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

●破損した場合

万一、落としたり、破損した場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、入手元に修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

禁止事項

●たこ足配線の禁止

本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。

●商用電源以外の使用禁止

AC100V の家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

●本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。

警告

●分解改造の禁止

本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●ぬらすことの禁止

本商品に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
漏電して火災・感電の原因となります。

●ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意

●ペースメーカを装着されている方の禁止

埋め込み型心臓ペースメーカを装着されている方は本商品をペースメーカ装着部から22cm 以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。

●異物を入れないための注意

本商品の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

設置場所

●火気のそばへの設置禁止

本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

●油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

●本商品を逆さまに置かないでください

●通風孔をふさぐことの禁止

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- 横向きに寝かせる
- 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- じゅうたんや布団の上に置く
- テーブルクロスなどを掛ける

●横置き・重ね置きの禁止

本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

●温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止事項

●乗ることの禁止

本商品に乗らないでください。特に小さなお子さまのいるご家族ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

電源

●アース線の取付

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

●プラグの取り扱い注意

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグの清掃

電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

●長期不在時の注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

その他のご注意

●移動させるときの注意

移動させる場合は、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードの傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●雷のときの注意

雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

●取扱説明書に従って接続してください。
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

STOP お願い

設置場所

●本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
- ・ほこりや振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
- ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

禁止事項

●動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

日頃のお手入れ

●汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。
ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ADSL に関する注意事項

●通信速度は、パソコンの環境や接続プロバイダ、サーバ、接続時間帯により実際の実効速度とは異なります。

●ADSL を設置しているNTT局舎から設置場所までが離れている場合、あるいは十分な配線設備がない場合は、十分な通信速度が出ないか、または使用できないことがあります。

●設置場所の近くに幹線道路、線路、送電線、送信所など電波を発するものがある場合は、十分な通信速度が出ないか、または ADSL 回線による接続が途切れたりすることがあります。

●電話回線で着信があった場合は、ADSL 回線による接続が途切れることがあります。

●近くにガス検知器などがあると、十分な通信速度が出ないことがあります。

●次のような場合は、速度が遅くなることがあります。
- ・ISDN 回線などのノイズ源がある場合
- ・配線のルート変更で距離が伸びた場合
- ・電話回線の音声信号にデータを重畳させている場合
- ・スプリッタで分離していても配線状況が悪い場合

マニュアルの読み進めかた

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的にあわせてお読みください。

◇スタートガイド（本書）

本商品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

◇詳細ガイド（CD-ROM：PDF ファイル）

本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

◇用語解説（CD-ROM：HTML ファイル）

本書で使われている用語や本商品を活用するために知っておきたい用語の解説を五十音で検索することができます。

本商品をご入手いただいて、インターネットに接続するまでの流れは、下記のようになります。

セットを確認する
※本書『1-2. セットを確認してください』（17ページ）を参照してください。

パソコンの設定を行う
※本書『2. パソコンのネットワークを設定する』（21ページ）を参照してください。

本商品を設置・接続する
※本書『3. 設置・接続する』（26ページ）を参照してください。

本商品に Web ブラウザでログインする
※本書『4-1. Web ブラウザでログインする』（34ページ）を参照してください。

本商品を Web ブラウザで設定する
※本書『4-2. Web ブラウザで設定する』（35ページ）を参照してください。

本商品の設定を保存する
※本書『4-3. 設定をセーブ・リブートする』（41ページ）を参照してください。

インターネットに接続する
※本書『5. インターネットに接続する』（46ページ）を参照してください。

目次

CD-ROM に収録されたマニュアルの見方

Windows® をお使いの場合

1. CD-ROM をパソコンにセットしてください。
2. エクスプローラなどを使用して、CD-ROM の「Manual」フォルダを開きます。
3. 必要なファイルをダブルクリックしてください。
   - 「スタートガイド.pdf」. . . . . .「スタートガイド」の PDF ファイルです。
   - 「詳細ガイド.pdf」. . . . .「詳細ガイド」の PDF ファイルです。
   - 「index.html」. . . . . 用語解説の HTML ファイルです。

Macintosh® をお使いの場合

1. CD-ROM をパソコンにセットしてください。
2. 表示された CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。
3. 必要なファイルをダブルクリックしてください。
   - 「スタートガイド.pdf」. . . . . .「スタートガイド」の PDF ファイルです。
   - 「詳細ガイド.pdf」. . . . .「詳細ガイド」の PDF ファイルです。
   - 「index.html」. . . . . 用語解説の HTML ファイルです。

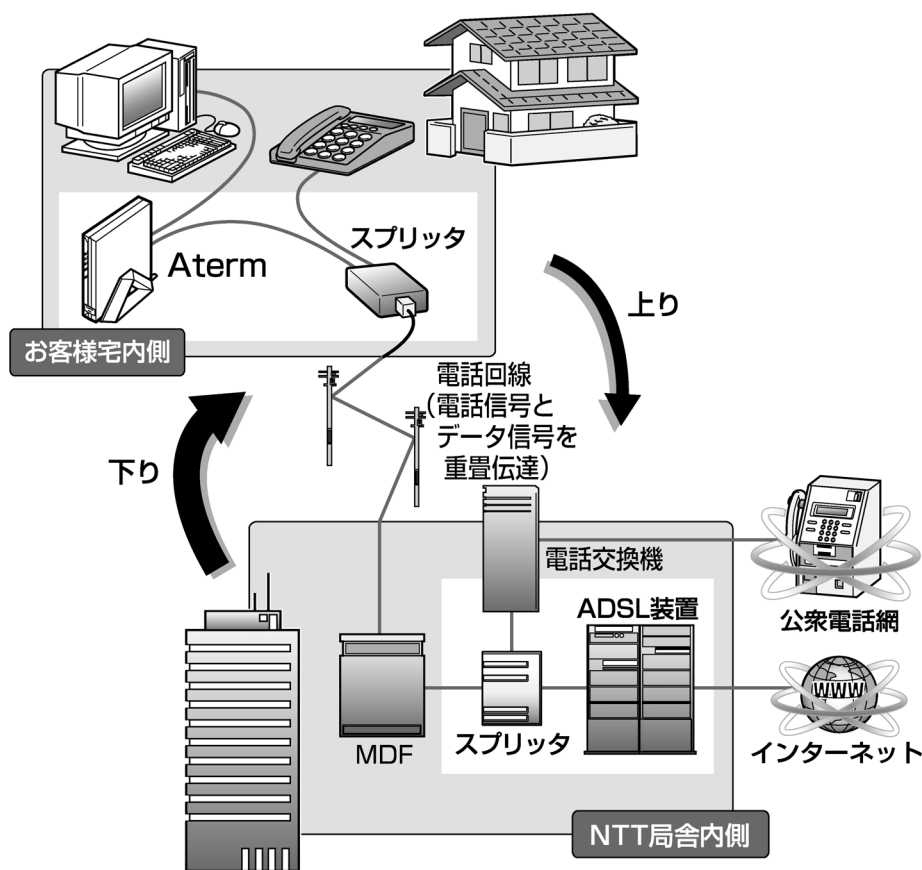
【お願い】

Acrobat® Reader をインストールされていない方は、添付品 CD-ROM に収録されている Acrobat® Reader をインストールしてください。

1. お使いになる前に

「AtermDR30F および DR35FH」とは何かを説明します。
また、添付品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

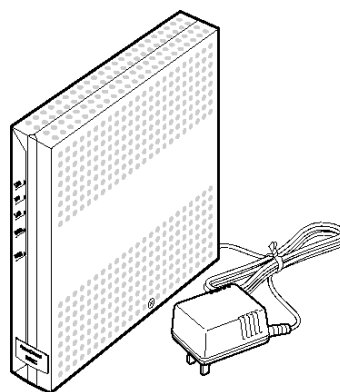
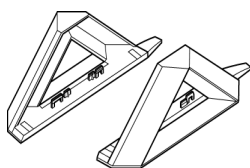
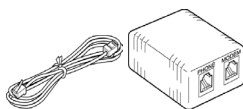
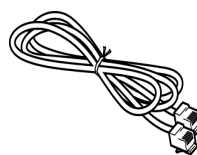
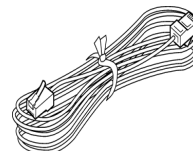
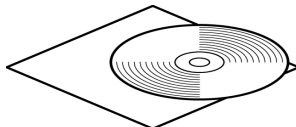
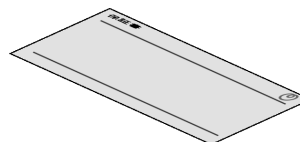
1-1. AtermDR30FおよびDR35FHとは

AtermDR30F および DR35FH は、メタリック回線（電話回線）を使用することによって、高速なインターネット接続を可能とする ADSL モデム内蔵のブロードバンドルータです。
AtermDR35FH では、100BASE-TX/10BASE-T ポートを 4 ポート搭載し、スイッチング HUB を内蔵しているため、最大 4 台のパソコンで同時にインターネット接続することができます。また、本商品に接続した複数のパソコン同士で通信することも可能です。

また、本商品は、高度な機能を柔軟に使えるように、Web ブラウザによる設定を実現していますので、接続する端末や OS に依存せずにご利用いただけます。さらに、初心者の方にも容易にインターネットをご使用いただける「かんたん設定」を用意しています。

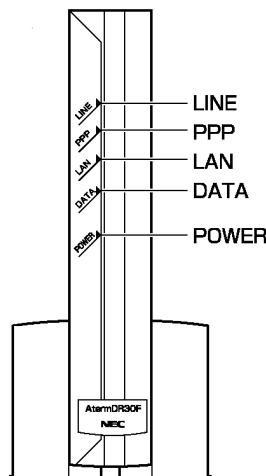
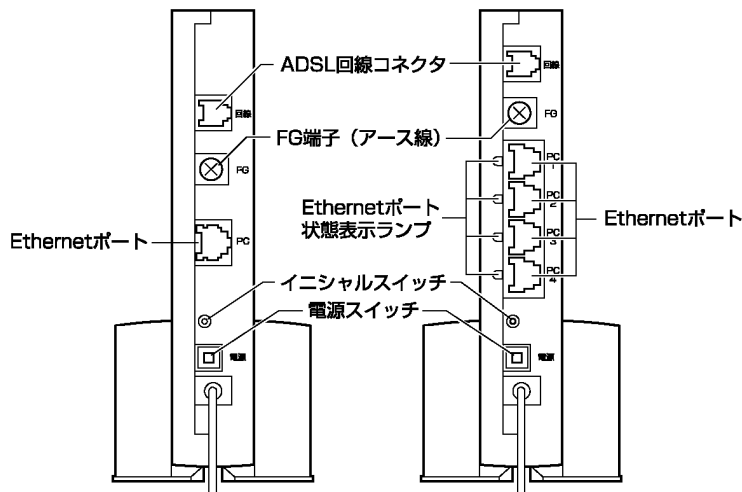
そのほかに、下記のような便利なルータ機能が満載されています。

- スタティックルーティング（最大 40 経路設定可能）
- DHCP サーバ機能
- Proxy DNS 機能（DNS フォワーディング機能＋DNS キャッシュ機能）
- IP パケットフィルタリング機能
  プロトコル種別、パケット方向、送信元/宛先ポート番号（範囲指定）、送信元/宛先 IP アドレス（範囲指定）、TCP フラグによる指定が可能
- IP マスカレード機能
- ポートマッピング機能（ポートマッピング機能＋ポート無変換機能）
- マルチサブネット機能（最大 32 サブネット）

1-2. セットを確認してください

設置を始める前に、本体および添付品がすべてそろっていることを確認してください。
不足しているものがある場合は、入手元にお問い合わせください。

セットに足りないものがあったり、スタートガイドに乱丁・落丁があった場合などは、入手元にご連絡ください。

1-3. 各部の名称・機能

本商品各部の名称および機能を説明します。

■前面

名称	表示（色）	機能説明
ADSL回線表示ランプ	LINE (緑)	点灯　:ADSL回線のリンクが確立しています。 遅い点滅:ADSL回線の信号検出待ちです（0.4秒間隔）。 速い点滅:ADSL回線がトレーニング中です（0.2秒間隔）。
通信状態表示ランプ	PPP（緑）	点灯　:PPPのリンクが確立しています。注1 遅い点滅:PPPの認証が失敗しました（1秒間隔）。 速い点滅:PPPのリンクネゴシエーション中です（0.2秒間隔）。 消灯　:PPPのリンクが確立していません。
	LAN　(緑)	点灯　:Ethernetポートのリンクが確立しています。注2 消灯　:Ethernetポートのリンクが確立していません。
	DATA (緑)	点滅　:Ethernetポートでデータの送受信をしています。 消灯　:Ethernetポートでデータの送受信をしていません。
電源ランプ	POWER(緑)	点灯　:電源が投入されています。 消灯　:電源が切れています。

［注 1］ 起動時、セルフテスト実行中の間、10～20 秒程度点灯します。

［注 2］ AtermDR35FH の場合は 4 つの Ethernet ポートのうち、1 ポートでもリンクが確立していれば点灯します。

■背面

名称	表示（色）	機能説明
ADSL回線コネクタ	回線	ADSL回線ケーブルを使用してADSL回線に接続するためのポートです。
FG端子	FG	アース線を接続するための端子です（ネジ径は4.0mm）。
Ethernetポート	PC	AtermDR30Fの場合
		Ethernetケーブルを使用してパソコンと接続します。 （10BASE-T）
	PC1 PC2 PC3 PC4	AtermDR35FHの場合
		Ethernetケーブルを使用してパソコンと接続します。 （100BASE-TX/10BASE-TスイッチングHUB）
Ethernetポート状態表示ランプ(AtermDR35FHのみ）	なし（緑）	各Ethernetポート（PC1～PC4）のリンクの状態を表示します。 点灯　:Ethernetポートのリンクが確立しています。 消灯　:Ethernetポートのリンクが確立していません。
イニシャルスイッチ	なし	工場出荷時の設定値で起動するためのスイッチです。
電源スイッチ	電源	電源ON/OFF用のプッシュスイッチです。

1-4. あらかじめ確認してください

■ ADSLサービス事業者との契約

ADSLサービスをご利用になるには、お客様が使用している電話回線が、NTT東日本/NTT西日本のADSL適合検査をクリアしている必要があります。NTTのADSL適合検査は、通常お申しこみになったADSL事業者よりNTT東日本/NTT西日本に対して依頼されます。すでにADSL事業者とご契約になっている場合は、契約されたサービスが本商品で利用可能かどうかをご確認ください。Atermと接続可能なADSL事業者は、

ホームページ『AtermStation』（**http://aterm.cplaza.ne.jp/**）

の「接続確認済ブロードバンド通信業者リスト」に順次追加されます。

平成14年1月現在、本商品で利用できる8MbpsADSLサービスは
・AtermDR30F/GSまたはDR35FH/GSをご利用の場合：
アッカ・ネットワークス（または、同等のセンター側設備を有する事業者が提供するサービス）です。

■ プロバイダとの契約

インターネットに接続するには、ADSL接続に対応したインターネット接続業者(プロバイダ)との契約が必要です。申し込み方法などの詳細はプロバイダにお問い合わせください。

■ パソコンのEthernetポートについて

本商品と接続する端末機器（パソコンなど）には、Ethernet ポート（100BASE-TX または 10BASE-T）が必要です。お使いのパソコンなどに Ethernet ポートが無い場合は、100BASE-TX/10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードをあらかじめご準備のうえ、パソコンに取り付けてください。
取り付け後は、LAN ボード/カードの取扱説明書に従って正しく動作することを確認してください。

■ Webブラウザの環境について

本商品は、Webブラウザで設定を行います。
Webブラウザによる設定では、以下の点に注意してください。

● Webブラウザは、下記のバージョンに対応しています。
※ Windows® Me/98/95/2000/XPの場合
・Microsoft® Internet Explorer Ver. 4.0 以上に対応（本商品のソフトウェアをバージョンアップする場合は、Microsoft® Internet Explorer Ver. 5.5以上をご利用ください。）
・Netscape Navigator Ver.6.1 以上に対応
※ Macintosh® の場合
・Microsoft® Internet Explorer Ver. 5.0 以上に対応（本商品のソフトウェアをバージョンアップする場合は、『詳細ガイド』（PDFファイル）の『2-31 S/W・設定ファイル管理について』を参照し、バージョンアップ時の注意事項をお読みください。）
・Netscape Navigator Ver.6.1 以上に対応

● 説明に使用している画面表示は、お使いのWebブラウザやお使いのOSバージョンによって異なります。

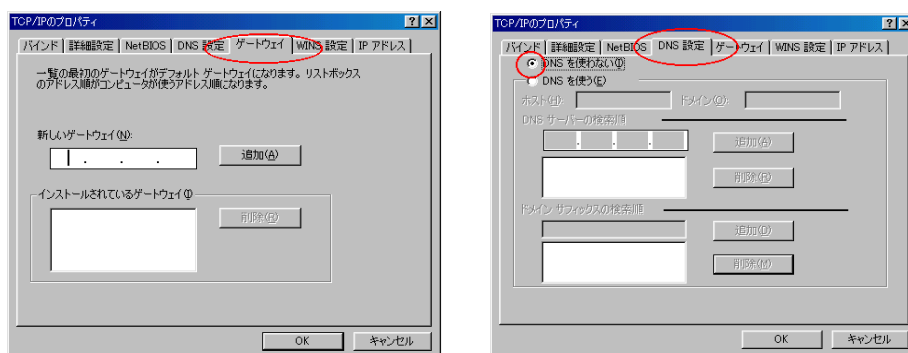
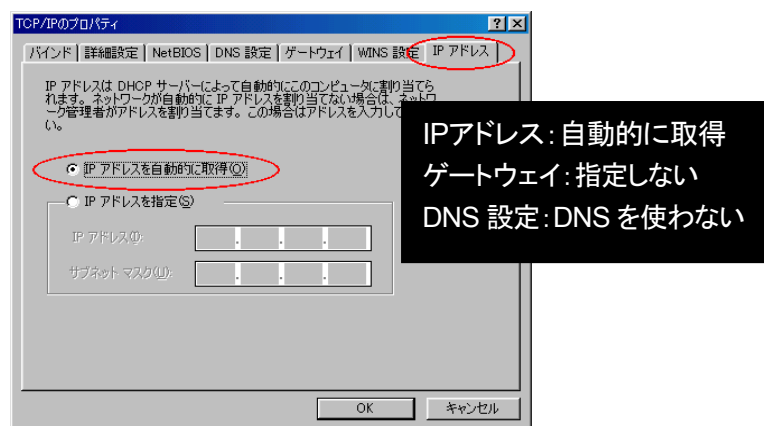
● お使いのWebブラウザやWebブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Webブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。

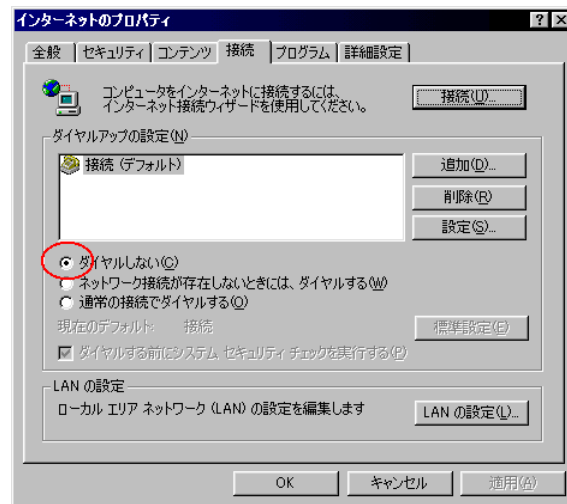
● 回線の状況や設定によっては、設定内容がWebブラウザに表示されるまでに時間がかかる場合があります。

2.　パソコンのネットワークを設定する

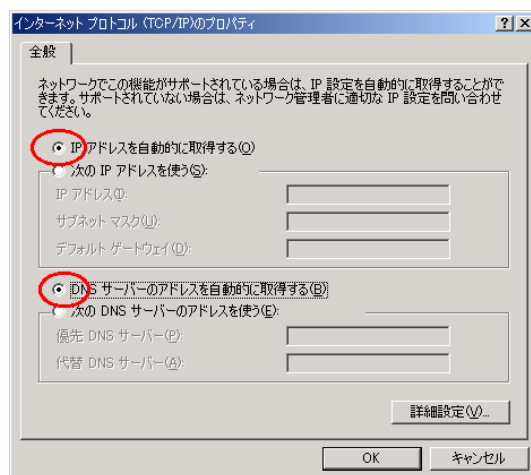
本商品に接続するパソコンに必要な設定について説明します。ここでは、本商品側を「かんたん設定」で設定する場合を説明します。
（以下の設定画面は、DHCP サーバ機能を使用する場合の設定例です。DHCP サーバは工場出荷時に「使用する」になっています。）

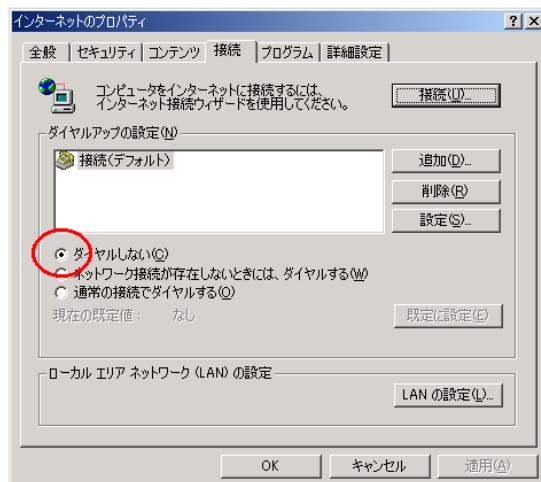
2-1. Windows® Me/98/95の設定

① 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックして、「TCP/IP→お使いのLANカード（またはお使いのLANボード）」を選択し、「プロパティ」 ボタンをクリックします。「IPアドレス」タブをクリックして、「IPアドレスを自動的に取得」 にチェックを入れ、「ゲートウェイ」タブをクリックし、指定されていないことを確認し、「DNS設定」タブをクリックし、「DNSを使わない」にチェックを入れて、「OK」ボタンをクリックしてください。

【ブリッジモードでお使いの場合】
「IP アドレス:192.168.0.2」、「サブネットマスク:255.255.255.0」「ゲートウェイ:指定しない」、「DNS 設定:DNS を使わない」に設定してください。

② 引き続き、「コントロールパネル」の「インターネットオプション」をダブルクリックします。「接続」タブでダイヤルアップの設定がある場合は「ダイヤルしない」という項目にチェックを入れ、「OK」ボタンで保存してください。

※ 「LANの設定」で、プロキシサーバを使用する設定になっていると、正しくインターネットに接続できない場合があります。

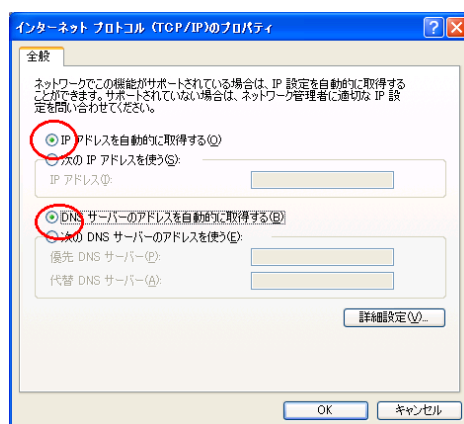
2-2. Windows® 2000の設定

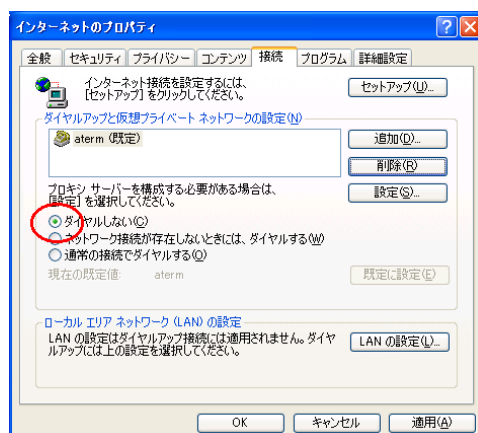
① 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」の「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。
「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
コンポーネントリストから「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。「IPアドレスを自動的に取得」と「DNSサーバのアドレスを自動的に取得する」にチェックを入れて、「OK」ボタンをクリックしてください。

【ブリッジモードでお使いの場合】
「次の IP アドレスを使う」にチェックして IP アドレスに「192.168.0.2」をサブネットマスクに「255.255.255.0」を入力し、「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」のチェックを外してください。

② 引き続き、「コントロールパネル」の「インターネットオプション」をダブルクリックします。「接続」タブでダイヤルアップの設定がある場合は「ダイヤルしない」という項目にチェックを入れ、「OK」ボタンで保存してください。

※ 「LANの設定」で、プロキシサーバを使用する設定になっていると、正しくインターネットに接続できない場合があります。

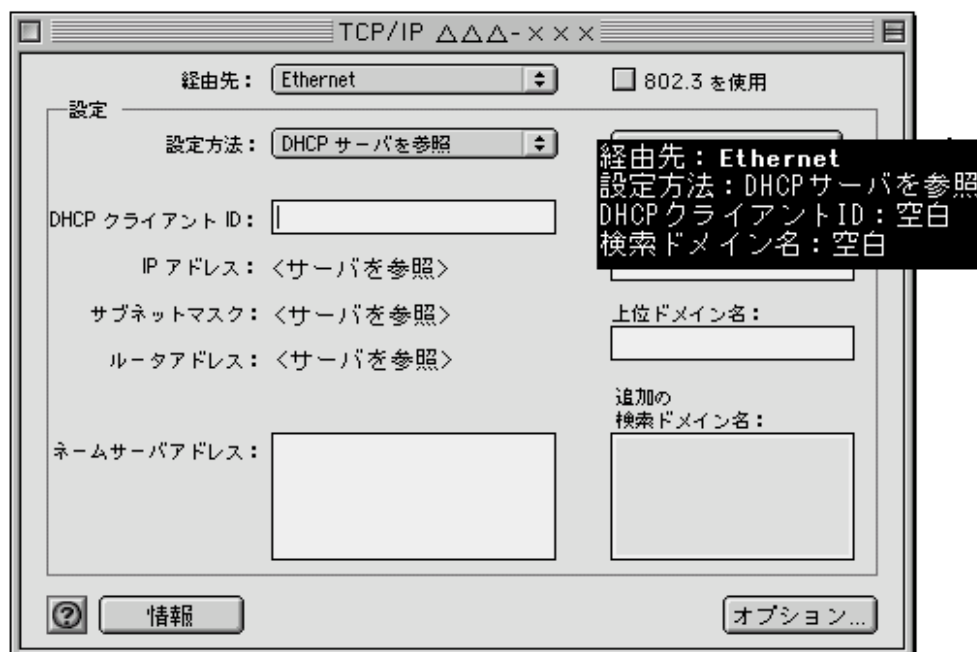
2-3. Windows® XPの設定

以下は、あらかじめダイヤルアップアイコンが登録されている場合の例です。
Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合がございます。

① 「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット接続」→「ネットワーク接続」をクリックします。
「ダイヤルアップアイコン」を右クリックして、プロパティを選択します。
「ネットワーク」タブをクリックし、インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。
「IPアドレスを自動的に取得」と「DNSサーバのアドレスを自動的に取得する」にチェックを入れて、「OK」ボタンをクリックしてください。

【ブリッジモードでお使いの場合】
「次の IP アドレスを使う」にチェックして IP アドレスに「192.168.0.2」をサブネットマスクに「255.255.255.0」を入力し、「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」のチェックを外してください。

② 引き続き、「コントロールパネル」の「インターネットオプション」をダブルクリックします。「接続」タブで「ダイヤルしない」という項目にチェックを入れ「OK」ボタンで保存してください。

※ 「LANの設定」で、プロキシサーバの設定がされていると、正しくインターネットに接続できない場合があります。

2-4. Macintosh® の設定

アップルメニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を選択してください。
「TCP/IP」の画面が開きます。
「経由先」に「Ethernet」を設定し、「設定方法」を「DHCP サーバを参照」に設定し、「DHCP クライアント」と「検索ドメイン名」を空白に設定してください。

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

※　本図は、Mac® OS 9.2 を事例に記載したものです。上記の OS 以外をご利用の場合は、接続する装置やソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

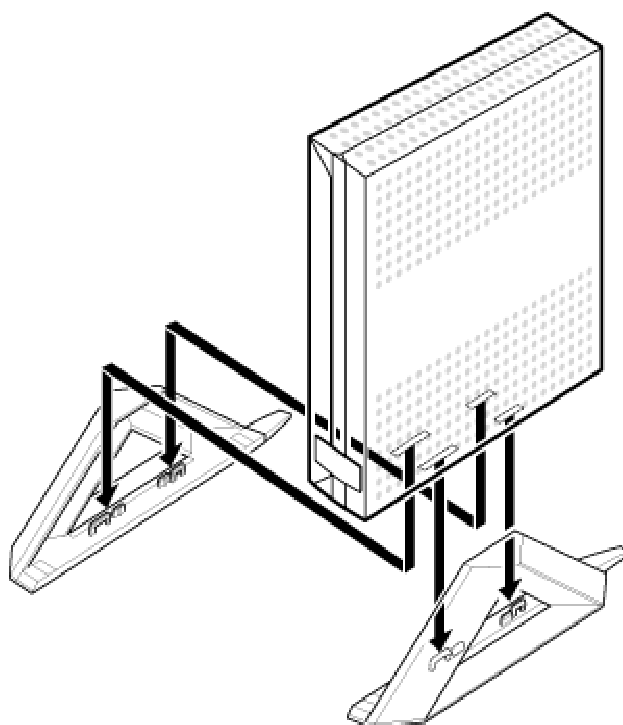
【ブリッジモードでお使いの場合】
設定方法を『手入力』に設定し、IP アドレスに「192.168.0.2」を入力し、サブネットマスクに「255.255.255.0」を入力してください（その他は空欄としてください）。

3. 設置･接続する

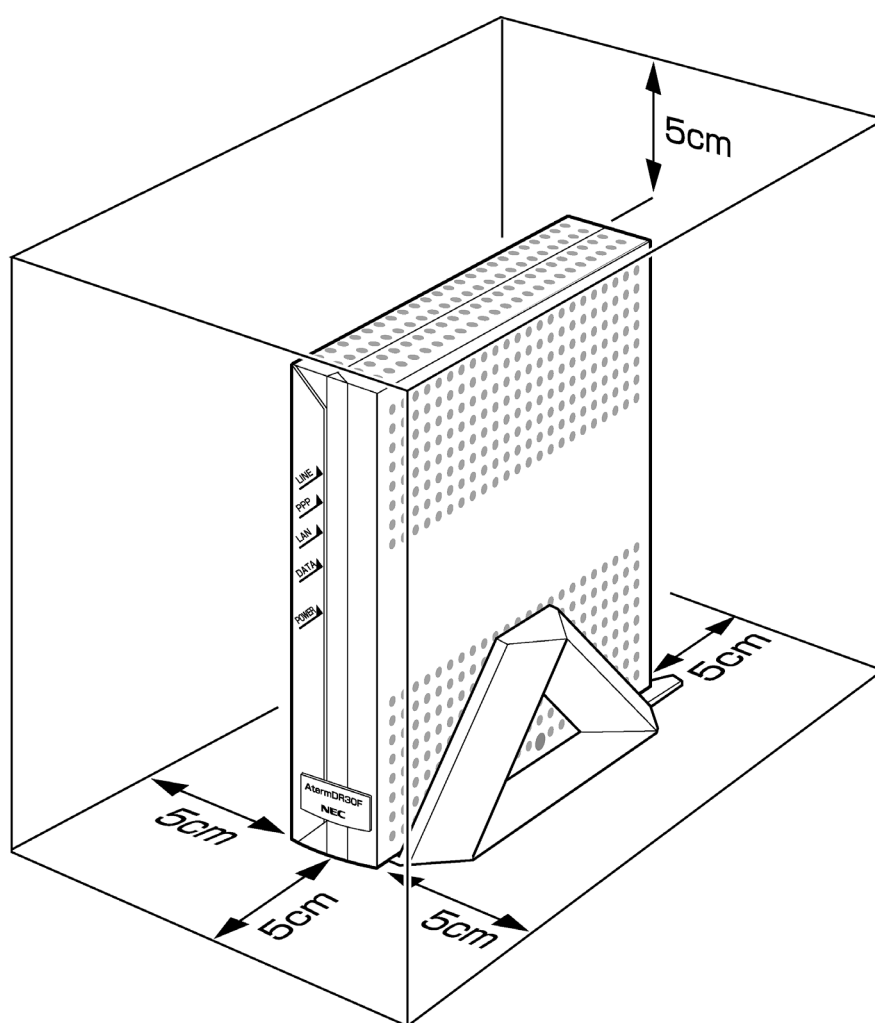
本商品を電話機やパソコン、スプリッタと接続する手順を説明します。
ADSL 回線で電話機（またはファクス）を併用するには、スプリッタが必要です。

3-1. スタンドをつける

図のように、本商品本体にスタンドをつけて縦置きでご使用ください。

⚠注意	本商品は横置きでのご使用はできません。

3-2. 設置する

本商品は、前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。

⚠注意	換気が悪くなると本体内部の温度が上がり、故障の原因になります。

3-3. パソコンの接続と確認

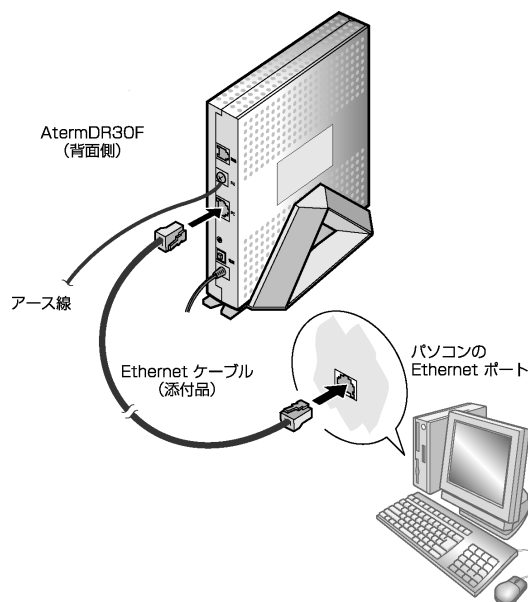
本商品とパソコンを接続する

次の手順でパソコンを接続してください。

① パソコンの電源は切っておきます。

② アース線を使用して、本商品（FG端子）をグランド（壁や電源コンセントのアース端子等）につないでください。アース線は添付していませんので、あらかじめご用意ください。

⚠警告	アース線は安全のため必ず接続してください。

③ 添付のEthernetケーブル（ストレート）を使用して、本商品のEthernetポートとパソコンを接続してください。市販のHUBを経由して接続することも可能ですが、その場合には、カスケードポートを持ったHUBをご利用いただくか、クロスのEthernetケーブルをご使用ください。

（イラストは AtermDR30F の場合です）

④ 電源アダプタを電源コンセント（AC100V）に差し込んでください。

⑤ 本商品とパソコンの電源を入れて、ランプの状態を確認します。

（1） 本商品の電源を入れると、POWERランプが点灯します。

（2） 本商品の電源を投入すると、セルフテストが開始され、10～20秒程度の間PPPランプが点灯します。

（3） セルフテストが完了するとPPPランプが消灯します。

（4） LANランプが点灯します。

（5） LINEランプが点滅を開始します。

ランプの表示が上記と異なる場合は、本書の『6-1. 故障かな?と思ったら』（54ページ）を参照のうえ、対処してください。

HUBを使用した場合も、本商品のLANランプが点灯すれば正しく接続されています。
詳しくは、ご使用のHUBの取扱説明書をご覧ください。

本商品とパソコンの接続を確認する

本商品のIPアドレスは、初期状態「192.168.0.1」に設定されています。IPアドレスを変更する場合は、『詳細ガイド』(PDFファイル)の「2-5 LANインタフェース(マルチサブネット設定)について」を参照してください。

IPアドレスの確認 ― Windows® Me/98/95の場合

※　パソコンの電源が入っている場合は、いったんパソコンの電源を切ってから開始してください。

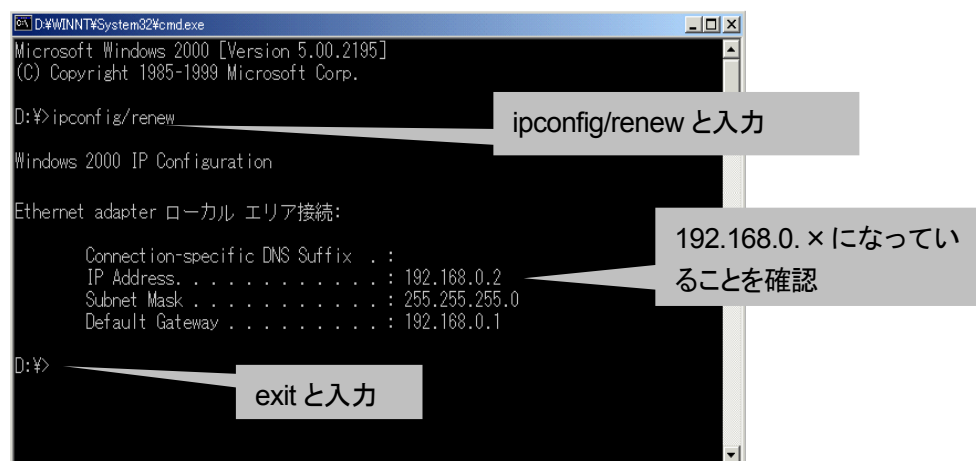
① パソコンの電源を入れ、本商品のLANランプが点灯するまでお待ちください。

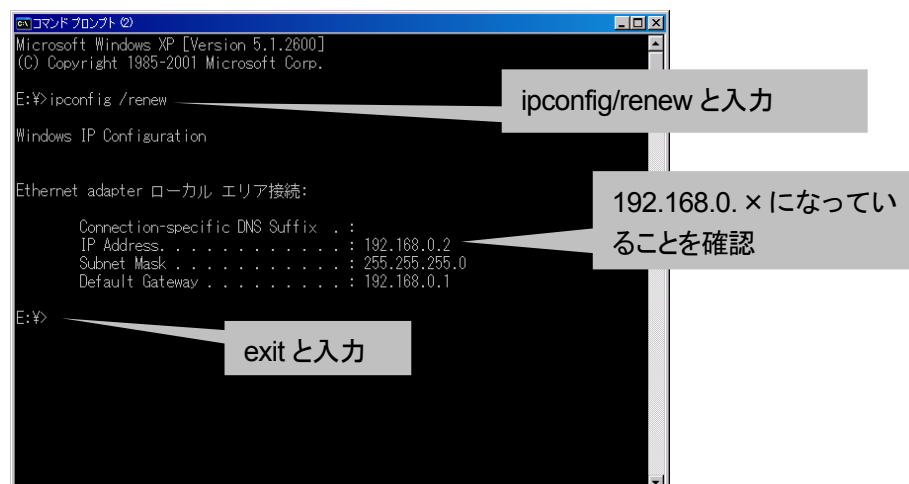
② パソコンが立ち上がったら、「スタートメニュー」から「ファイル名を指定して実行」を開き、「winipcfg」と入力後、「OK」ボタンをクリックします。

③ 下の画面が表示されたら、▼をクリックし、お使いの「LANカード／ボード」の名前をクリックします。

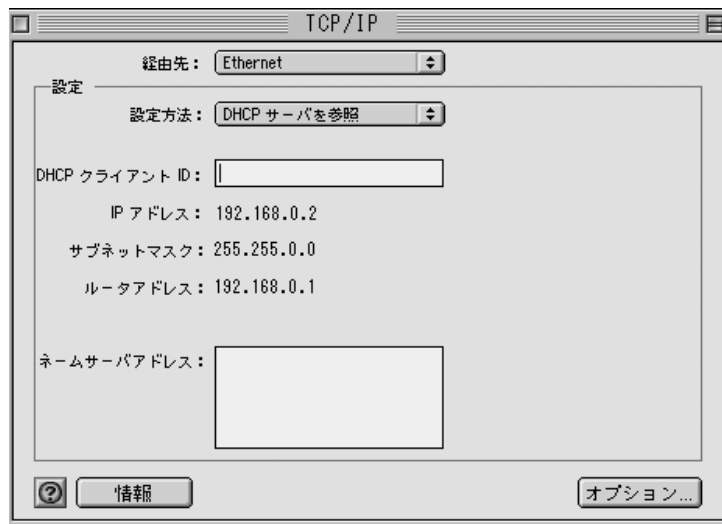
④ IPの設定画面が開きますので、IPアドレスが「192.168.0.×」となっていることを確認し、「OK」ボタンをクリックして閉じます。(×は任意の数字です)

IPアドレスの確認　－　Windows® 2000の場合

① パソコンの電源を入れ、本商品のLANランプが点灯するまでお待ちください。
② パソコンが立ち上がったら、「スタートメニュー」から「プログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」を実行します。
③「コマンドプロンプト」の画面が表示されたら、「ipconfig/renew」と入力して「Enter」キーを押してください。
④「Ethernet adapter ローカル エリア接続:」が表示され、IPアドレスが「192.168.0.×」になっていることを確認します。（×は、任意の数字です。）
⑤「exit」と入力して「Enter」キーを押してください。

IPアドレスの確認　－　Windows® XPの場合

① パソコンの電源を入れ、本商品のLANランプが点灯するまでお待ちください。
② パソコンが立ち上がったら、「スタートメニュー」から「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」を実行します。
③「コマンドプロンプト」の画面が表示されたら、「ipconfig/renew」と入力し、「Enter」キーを押してください。
④「Ethernet adapter ローカル エリア接続:」が表示され、IPアドレスが「192.168.0.×」になっていることを確認します。（×は任意の数字です）
⑤「exit」と入力し、「Enter」キーを押してください。

IP アドレスの確認 ー Macintosh®の場合

① パソコンの電源を入れ、本商品のLANランプが点灯するまでお待ちください。

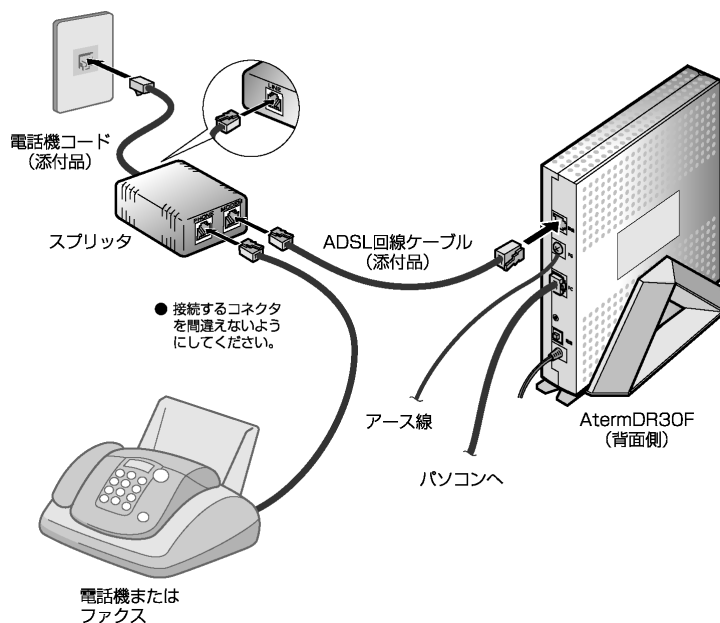
② アップルメニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を選択してください。IPの設定画面が開きますので、IPアドレスが「192.168.0.×」になっていることを確認します。(×は任意の数字です)

※ 本図は、Mac OS 9.2を事例に記載したものです。

3-4. 電話機をつなぎADSL回線に接続する

電話機を併用しない方は、本書の『3-5. 直接 ADSL 回線に接続する』（33ページ）に進んでください。

① 添付のADSL回線ケーブルを使用して、本商品のADSL回線コネクタとスプリッタ（MODEMポート）を接続してください。

② スプリッタに添付されている電話機コードを使用して、スプリッタ（LINEポート）とADSL回線のモジュラージャックを接続してください。

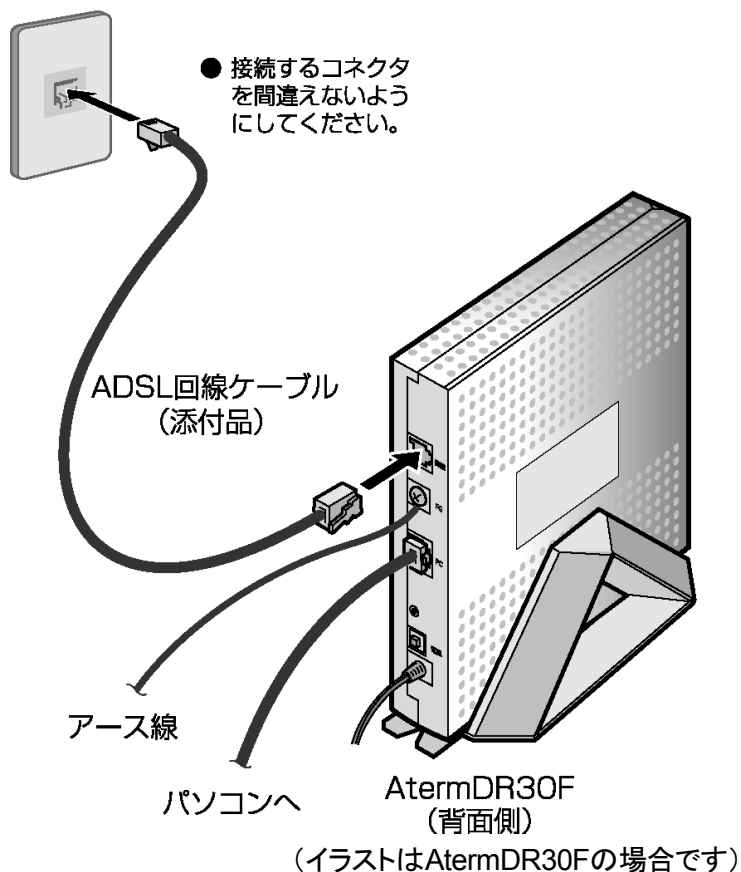
③ 現在電話機に接続されている電話機コードを使用して、電話機とスプリッタ（PHONEポート）を接続してください。

（イラストはAtermDR30Fの場合です）

④ LINEランプが速い点滅を開始し、数十秒後点灯に変わることを確認します。
LINEランプが点灯に変わらない場合は、本書の『6-1. 故障かな?と思ったら』（54ページ）を参照のうえ、対処してください。

- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- スプリッタは添付のスプリッタを使用してください。それ以外のスプリッタを使用した場合、正常に動作しないことがあります。
- 電話機は、ブランチ接続しないでください。
- ADSL回線の開通工事が完了していない場合、LINEランプは遅い点滅のままで点灯しません。
- スプリッタはイラストと形状が違う場合があります。
スプリッタの「LINE」または「WALL」には、ADSL回線を
「PHONE」には電話機またはファクスを
「MODEM」にはAtermをそれぞれ接続してください。

3-5. 直接ADSL回線に接続する

電話機を併用しない方は、本商品を直接 ADSL 回線に接続します。

① 添付のADSL回線ケーブルを使用して、本商品のADSL回線コネクタとADSL回線のモジュラージャックを接続してください。

② LINEランプが速い点滅を開始し、数十秒後点灯に変わることを確認します。
LINEランプ点灯に変わらない場合は、本書の『6-1. 故障かな?と思ったら』（54ページ）を参照のうえ、対処してください。

● ADSL回線の開通工事が完了していない場合、LINEランプは遅い点滅のままで点灯しません。

4. 設定する

本商品を設定し、インターネットに接続するまでを説明します。
パソコンから Web ブラウザで本商品にログインすることによって、Web ブラウザで本商品の設定を行うことができます。（高度な機能の設定については、『詳細ガイド』（PDF ファイル）の各機能の「詳細設定について」を参照してください。）

4-1. Webブラウザでログインする

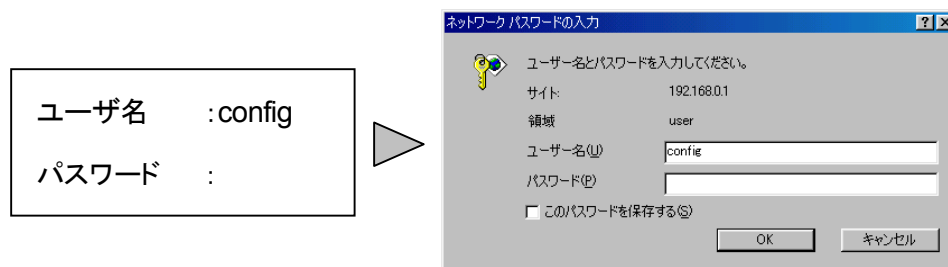
パソコンの電源を入れ、Web ブラウザを立ち上げてください。

本商品に Web ブラウザでログインする場合は、URL を下記のように入力してください。

http://192.168.0.1/

※192.168.0.1＝本商品の IP アドレス

本商品の IP アドレスは、初期状態（工場出荷時）に「192.168.0.1」に設定されています。
（IP アドレスを変更し、そのアドレスを忘れてしまった時は、『4-5. Aterm の初期化／OAM 試験をする』（44 ページ）を参照して、本商品の初期化を行ってください。）
パソコンの Web ブラウザには、下記のように入力します。

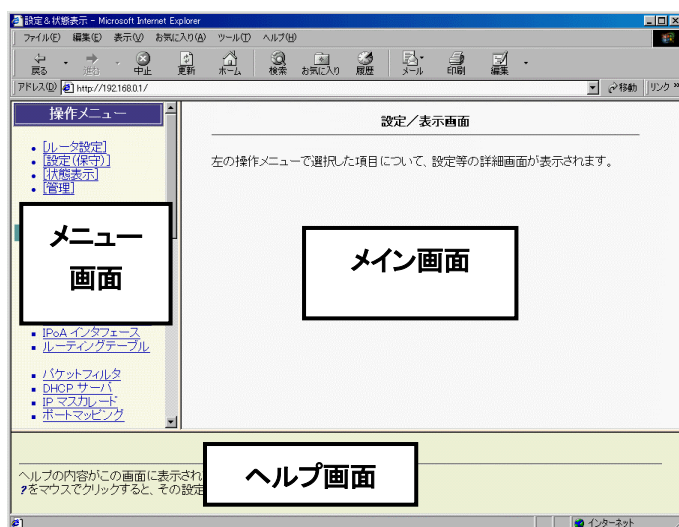
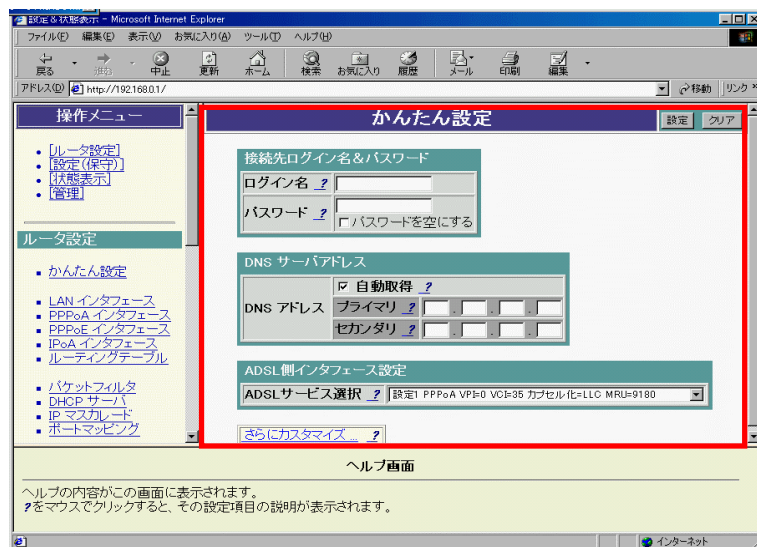
上記接続を開始すると次に認証画面が表示されます。ユーザ名／パスワードについては、初期状態（工場出荷時状態）で下記のように設定されています。

※パスワードは初期状態では設定されていません。

ユーザ名に「config」、パスワードには何も入力せずに、「OK」ボタンをクリックすると、
Web ブラウザ上に本商品の設定画面が表示されます。
続けて、『4-2. Web ブラウザで設定する』（35ページ）に従って、設定を行ってください。

4-2. Webブラウザで設定する

本商品に Web ブラウザでログインすると、設定画面が表示されます。
以下の手順に従って、設定を行ってください。
（お使いの Web ブラウザ設定にて、プロキシサーバを使用する設定になっている場合、本商品の Web 画面が表示されないことがあります。）

Webブラウザの操作方法について

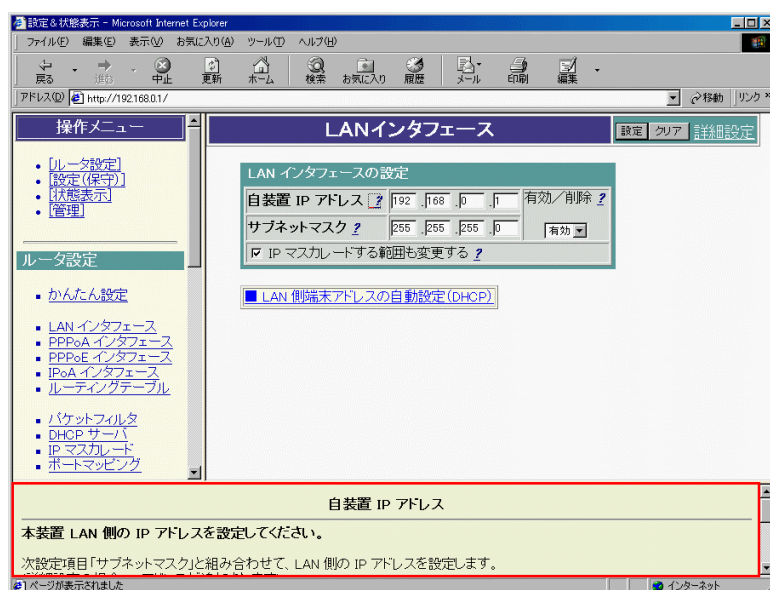
Web ブラウザを使用して本商品へのログインが成功すると、本商品の設定画面が表示されます。
設定画面は、「メニュー画面」、「メイン画面」、「ヘルプ画面」の 3 つから構成されています。

● 「メニュー画面」には、本商品の設定項目が並んでいます。設定する項目をクリックすると、「メイン画面」に、設定内容が表示されます。本商品への設定は、「メイン画面」を通して行います。

● 「メイン画面」の右上（または右下）には『設定』ボタン、『クリア』ボタン、『詳細設定』ボタン、『戻る』ボタンがあります（設定項目によって、表示される内容が異なります。）

設定　　：設定した内容を反映させたい場合にクリックします（設定内容がセーブされるわけではありません。設定のセーブについては本書の『4-3. 設定をセーブ・リブートする』（41ページ）を参照してください。）

クリア　：入力した内容をクリアしたい（入力前の状態に戻したい）場合にクリックします。ただし、設定が反映されていない内容にのみ有効です（既に『設定』ボタンがクリックされた内容についてはクリアされません。）

詳細設定：メニュー画面で選択した設定項目について、詳細に設定したい場合にクリックします。この『詳細設定』をクリックすると、「メイン画面」に詳細設定画面が表示されます。ただし、『設定』ボタンをクリックする前に『詳細設定』をクリックすると、それまで設定していた内容が入力前の設定値に戻りますので注意してください。

戻る　　：詳細設定画面から、もとの画面に戻る場合にクリックします。

● 「メイン画面」の各設定項目には、“ ？ ”のマークが付いています。この“ ？ ”をクリックすると、「ヘルプ画面」に各設定項目の内容が表示されます。

● 使用可能な文字列について
本商品の文字列設定で使用可能な文字は、「0x20～0x7e」のASCIIコードを持つキャラクタです。
具体的には、以下の半角文字です。全角の日本語や、半角のカタカナ等は使用できません。
・数字と大文字小文字のアルファベット
・記号　スペース ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

※ご使用のパソコンの機種によっては、¥ は ＼ 、~ は ￣ と表示されます。
入力されたコマンド等は英字の大文字と小文字が異なるものとして扱われます。

● 本商品で扱うパスワードについて
本商品で扱うパスワードには次の2種類があります。

種　類	説　明	設定メニュー
インターネット接続のアカウント	ADSL 接続時に使用します。通常、契約しているプロバイダから指定されます。	かんたん設定
本商品へのログイン用	本商品への Web ブラウザからのログインに使用します。	ユーザ用パスワード

※ 設定方法については、各設定メニューの章を参照してください。

Webブラウザを使用した設定の流れについて

Web ブラウザを使用した本商品の設定は、基本的に下記の順番で行います。

かんたん設定について

本商品の「かんたん設定」は、以下の手順で行います。

① メニュー画面より「かんたん設定」をクリックします。クリック後、メイン画面に「かんたん設定」の設定画面が表示されます。

② 接続先のログイン名とパスワードを設定します。通常、契約しているプロバイダから指定されます。
下記は、ログイン名、パスワードの両方に “abcde” と設定した場合の例です。
なお、パスワードについては、入力した文字が “＊” として表示されます。

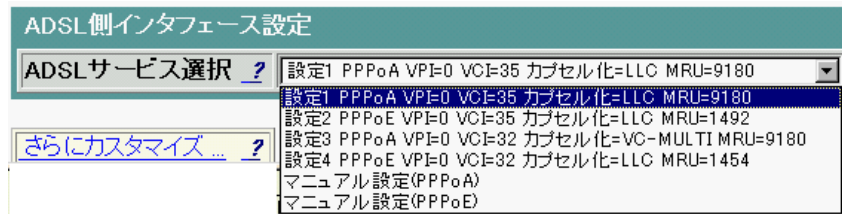
← 例: “ abcde “ と入力
← 例: “ abcde “ と入力

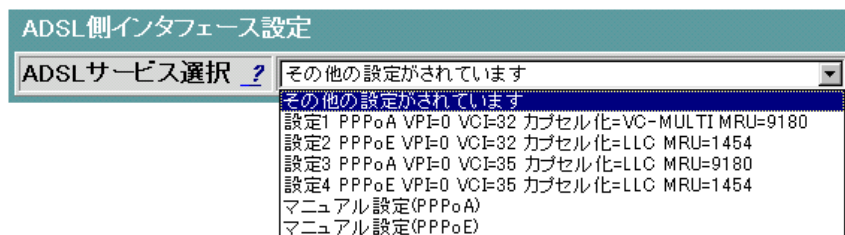
設定ボタンクリック後は、パスワードが設定されている場合でもパスワード部分は空欄の画面表示になります。

③「DNSサーバアドレス」の設定を行います。通常、契約しているプロバイダから指定されます。
DNSアドレスを自動的に取得させる場合は、「自動取得」にチェックしてください。
この場合、「プライマリ」、「セカンダリ」のIPアドレスは設定しないでください。
プロバイダからDNSサーバアドレスが指定されている場合は自動取得のチェックをはずし、「プライマリ」、「セカンダリ」にDNSアドレスを設定してください。

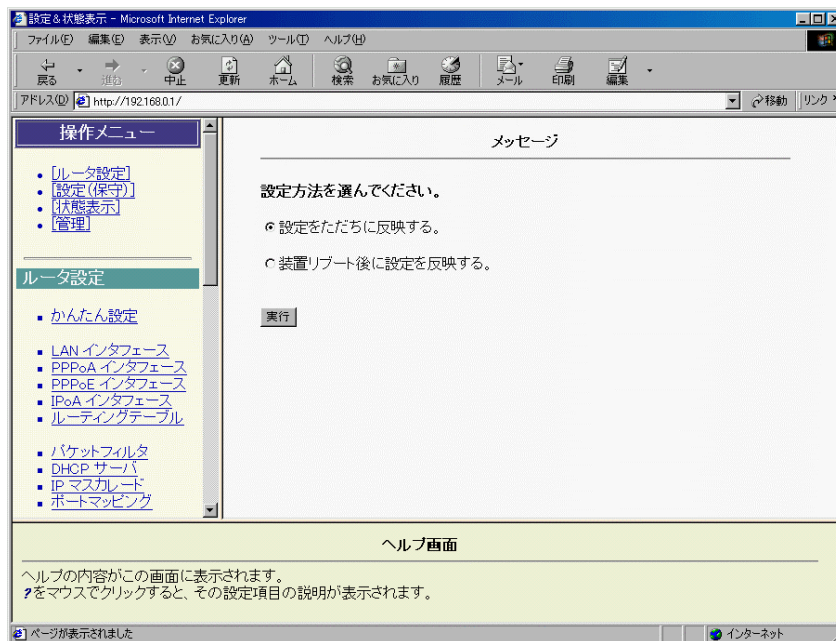
例えば、DNSアドレスの自動取得を使用する場合は下記のように設定してください。

④「ADSL側インタフェース設定」で「ADSLサービス」の選択をします。
AtermDR30F/GSおよびDR35FH/GS と AtermDR30F/CEおよびDR35FH/CE とでは、ご利用になれるADSLサービスが異なります。

【AtermDR30F/GSまたはDR35FH/GSをご利用の場合】

設定1は、アッカ・ネットワークスにつながる値です。
該当するものがない場合は、マニュアル設定（PPPoA）かマニュアル設定（PPPoE）をご使用にあわせて選択し、「設定」ボタンをクリックしてください。
選択にあわせ、「PPPoAインタフェース」もしくは「PPPoEインタフェース」の設定画面が表示されます。その画面でご使用のADSLサービスの設定を行ってください。
※平成14年1月現在、アッカ・ネットワークスによる ADSL サービスを利用する場合は、「設定1」を選択してください。
※ ご利用のADSLサービスの設定が分からない場合は、ご契約のADSL事業者または、当社Atermインフォメーションセンターにお問い合わせください。

【AtermDR30F/CEまたはDR35FH/CEをご利用の場合】

ご契約のADSL事業者の設定を設定1～設定4から選択してください。
該当するものがない場合は、マニュアル設定（PPPoA）かマニュアル設定（PPPoE）をご使用にあわせて選択し、「設定」ボタンをクリックしてください。
選択にあわせ、「PPPoAインタフェース」もしくは「PPPoEインタフェース」の設定画面が表示されます。その画面でご使用のADSLサービスの設定を行ってください。
※ご利用のADSLサービスの設定が分からない場合は、ご契約のADSL事業者または、当社Atermインフォメーションセンターにお問い合わせください。

⑤ 設定終了後、「設定」ボタンをクリックします。

⑥ 設定した内容を直ちに反映するか、リブート後反映するかを選択します。
通常は、「設定をただちに反映する」を選択します。

⑦ 選択後、「実行」ボタンをクリックします。メイン画面にセーブ画面が表示されますので、通常は、「設定をセーブする」をクリックします。

● 一部の機能は、本商品をリブートするまで有効になりません。ひととおり設定が完了したら、メニューからあらためて「セーブ」を選択して設定のセーブを行い、その後、本商品を「リブート」してください。本商品のリブートについては、本書の『4-3. 設定をセーブ・リブートする』(41ページ)を参照してください。

パスワードの削除

パスワードを削除する場合は、「パスワードを空にする」をチェックし、「設定」ボタンをクリックしてください。

4-3. 設定をセーブ・リブートする

本商品の設定は、設定セーブ後、または装置リブート後に有効になります。

セーブについて

本商品のセーブ（設定データのセーブ）は、下記の手順で行います。

① メニュー画面より「セーブ」をクリックします。
　クリック後、メイン画面に「セーブ」の設定画面が表示されます。

② 「設定をセーブする」ボタンをクリックします。

- 必要に応じて、本商品をリブートしてください。
  本商品のリブートについては、次ページの「リブートについて」を参照してください。

（本商品の設定を有効にするには、リブートが必要な機能と必要でない機能とがあります。
詳しくは『詳細ガイド』（PDF ファイル）の「2-2 設定が有効になる時期」を参照してください。）

リブートについて

本商品のリブート（再起動）は、下記の手順で行います。

メニュー画面より「リブート」をクリックします。

① クリック後、メイン画面に「リブート」の　設定画面が表示されれます。

② 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。クリック数秒後、本商品がリブートします。

リブートには数十秒かかります。本商品のLINEランプがいったん消灯し、点滅を開始するまでお待ちください。再度、Webブラウザから設定を行う場合は、LINEランプが点滅を開始してから行ってください。

4-4. 日付時刻を設定する

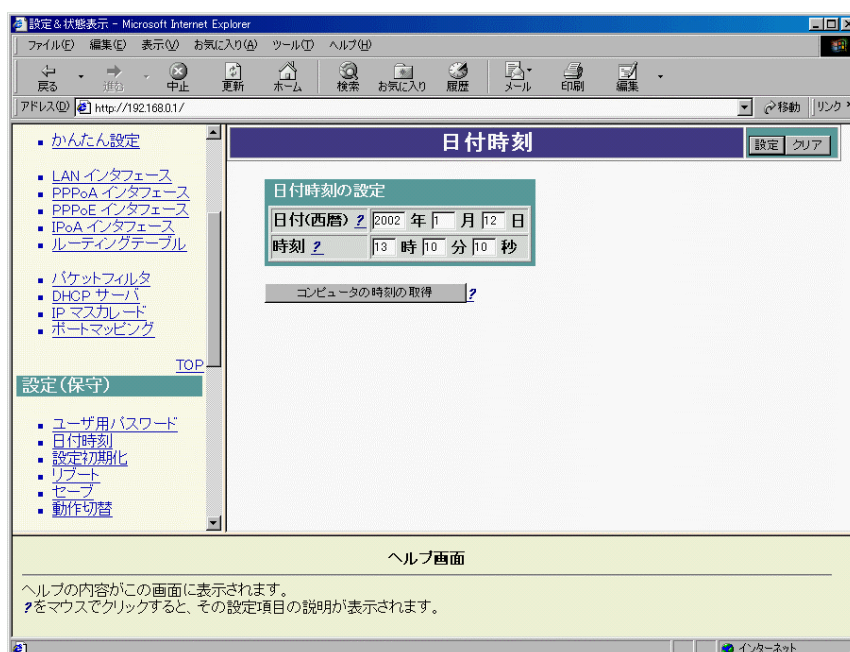
日付時刻について

本商品の日付時刻の設定は、下記の手順で行います。

① メニュー画面より「日付時刻」をクリックします。クリック後、メイン画面に「日付時刻」の設定画面が表示されます。

② 「コンピュータの時刻の取得」ボタンをクリックします。クリック後、本設定ボタンの上の入力項目にお使いのパソコンの日付・時刻が表示されます。

※ご使用の Web ブラウザによっては、本設定ボタンは無効な場合があります。そのような場合や、日付・時刻の設定を手動で行いたい場合は、本設定ボタンの上の入力項目に日付および時刻を設定してください。

③ 設定終了後、「設定」ボタンをクリックします。

日付の設定は、本商品の電源を OFF したり、リブートしたりすると消えてしまいます。
再度電源を入れた後やリブート後には、必ず設定を行ってください。

4-5. Atermの初期化／OAM試験をする

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して入手時の状態に戻すことをいいます。
本商品がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

本商品にアクセスできないとき

本商品本体へのパスワードを忘れてしまったり、LAN の設定を間違えるなどして、本商品にアクセスできなくなった場合は、以下の手順に従って本商品を立ち上げてください。

① いったん本商品の電源を落とします。
② イニシャルスイッチを押しながら電源を入れてください（電源ON後、3秒以上押し続けてください）。
　イニシャルスイッチは先の尖ったつまよう枝などで押してください。
③ これで本商品にアクセスできます。
　続けて、下記の「設定初期化について」に従って設定値の初期化を行ってください。

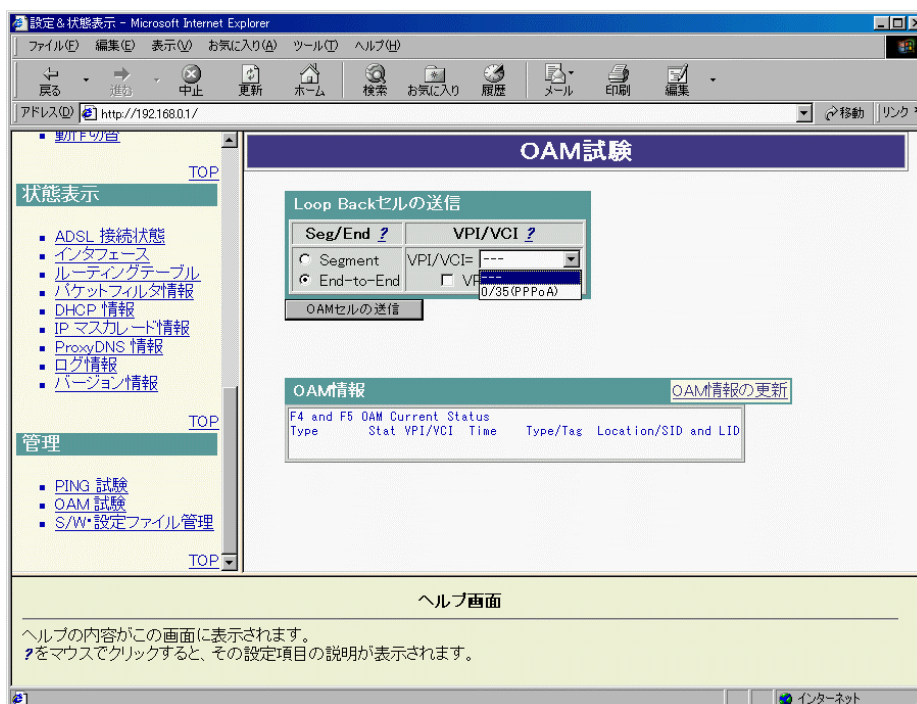
設定初期化について

本商品の設定初期化は、下記の手順で行います。

① メニュー画面より「設定初期化」をクリックします。
② クリック後、メイン画面に「設定初期化」の設定画面が表示されます。
③ 「設定を初期化する」ボタンをクリックします。
　ボタンをクリック後、メッセージに従って本商品をリブートしてください。
　本商品のリブートについては、本書の『4-3. 設定をセーブ・リブートする』（41ページ）を参照してください。

OAM試験について

インターネットに接続できなかったとき、原因がNTT局舎までのネットワークか、接続先サーバまでのネットワークにあるのか OAM 試験により切り分けができます。
OAM とはネットワークの運用状態を試験する機能です。

① メニュー「OAM 試験」をクリックします。
②「End-to-End」にチェックします。
③ VPI/VCI から ADSL サービス選択で選んだプロトコルを選択してください。
④「OAM セル送信」ボタンをクリックしてください。
※「ループバック試験に失敗しました」とメッセージが出たら、再度接続をしなおしてください。
　LINE ランプは点灯していますか？
　ADSL のリンクが確立しないとループバックテストは成功しません。
　本マニュアルを見て ADSL モデムを設定しましたか？
　設定されていないとループバックテストは行えません。
※ End-to-End は、接続先サーバまでのループバック試験で Segment はNTT局舎内の DSLAM 設置までのループバック試験です。

（AtermDR30F/GS および DR35FH/GS をご使用の場合の画面例です）

5.　インターネットに接続する

『Internet Explorer』や『Netscape Communicator』などのWebブラウザを起動します。
ご覧になりたいホームページなどのアドレスを入れて、インターネットをしてみましょう。

電子メールなど、パソコン上のネットワークアプリケーションは各ソフトウェアの取扱説明書やインターネットプロバイダの案内などを見て、パソコンの設定をしてください。

本商品はインターネット側から割り振られる IP アドレスひとつで、複数のパソコンが通信できるように IP マスカレードというアドレス変換機能を用いています。そのため、ネットワークゲームなどのアプリケーションによっては正常に通信が行えなかったり、LAN 側に接続しているアプリケーションサーバの公開ができなかったりという不都合が生じることがあります。

これらの場合、以下の機能を用いることによって対応可能となることがあります。
　　「ポートマッピング機能」
本章では、この機能の設定方法を説明します。

5-1. ポートマッピング機能を使う

本商品は、ポートマッピング機能を有しています。また、ポートマッピング機能の拡張機能として、ポート無変換機能があります。これらの機能を使用することによって、ネットワークゲームや、アプリケーションサーバの公開などを行うことができます。

ポートマッピング機能

本機能は、IP マスカレード機能を使用時にローカルネットワーク内のサーバを公開する場合や、ゲームアプリケーションなどを動作させる場合に生じる問題について対応することを目的とした機能です。あらかじめ登録した設定テーブルに従って IP アドレスのみを固定的に変換することにより、IP マスカレードによるポート番号変換を実施せずにローカルとグローバルのネットワークをつなぐ機能です。

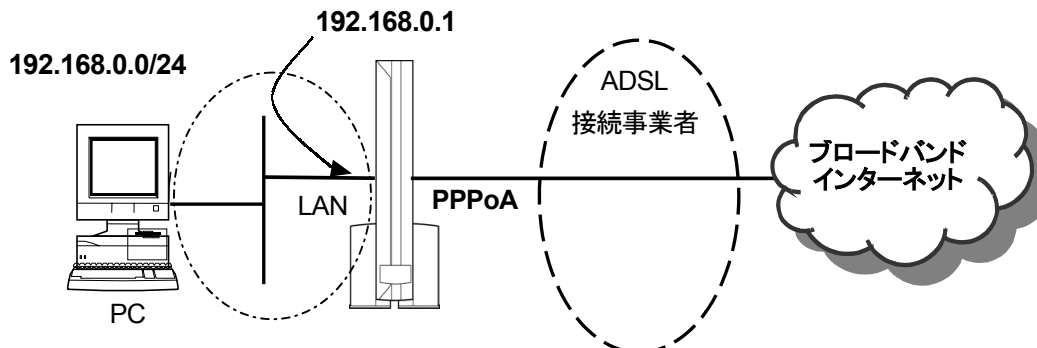
ポート無変換機能

本機能は、ポートマッピング機能を拡張したものです。ポートマッピング機能では、本商品のローカルネットワーク内のホスト（転送先ホスト）をひとつだけ指定します。このため、その他のホストを使用したい場合、使用するホストを変更するたびに本商品の設定を変更する必要があります。そこで、本機能はローカルネットワーク側のホストを限定せず、送信元ポート番号のみを登録することにより、該当するパケットを、最初に送出したローカルネットワーク上の端末を転送先ホストとして自動的に定義します。

本商品のポートマッピング機能の設定例を説明します。

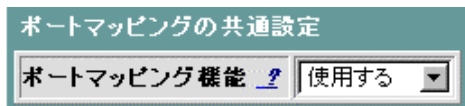
ポートマッピング機能・ポート無変換機能については『詳細ガイド』（PDF ファイル）の「2-13 ポートマッピングについて」に記載されている、機能、設定方法、注意事項などの詳細をよくお読みのうえ、ご利用ください。

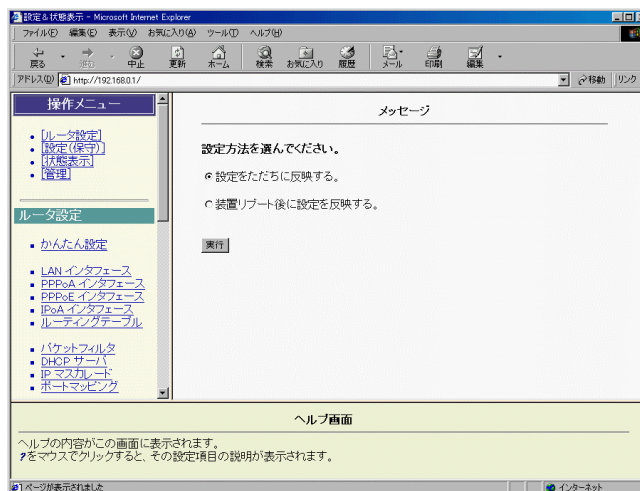
ポートマッピングのネットワーク接続／設定例

下記のネットワーク構成図ではWAN側インタフェースをPPPoAとしています。

・ポートマッピングを適用するインタフェース　:PPPoA
・ポートマッピングに使用するポート番号　:TCP 2000 番 ～ 3000 番
・ポートマッピングの対象となるローカルホスト　:192.168.0.100
※ポート無変換機能を利用する場合は、IP アドレス指定は不要です。

ポートマッピングの設定手順

① メニュー画面より「ポートマッピング」をクリックします。クリック後、メイン画面に「ポートマッピング」の設定画面が表示されます。

② 「ポートマッピング機能」で「使用する」を選択します。

③ ポートマッピングを適用するインタフェース、ポートマッピング設定条件を設定します。

④ 設定終了後、「設定」ボタンをクリックします。
⑤ 設定した内容を直ちに反映するか、リブート後反映するかを選択します。

⑥ 選択後、「実行」ボタンをクリックします。
⑦ メイン画面にセーブ画面が表示されます。②、③で設定した内容をセーブする場合は、「設定をセーブする」をクリックします。
⑧「設定をただちに反映する」を選択した場合、設定一覧にポートマッピングの設定が追加されます。

ポートマッピング設定一覧

インターフェース	プロトコル	ポート番号	ローカルホスト		有効／削除 ?
			IP アドレス	MAC アドレス	
PPPoA	TCP	2000 ～ 3000	指定しない	指定しない	有効

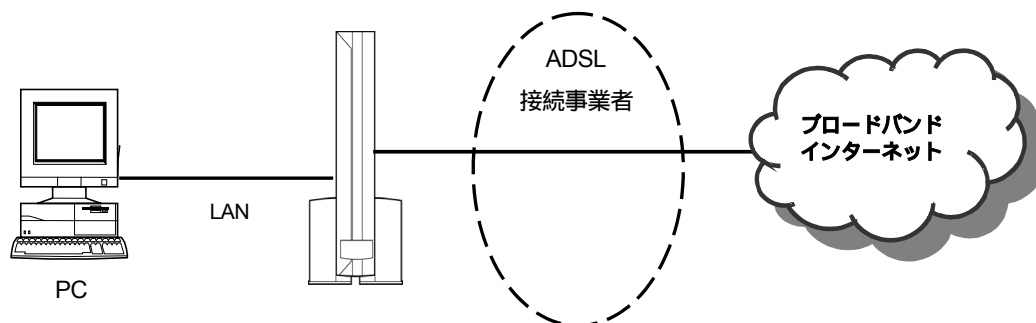
ポートマッピング設定の削除手順

ポートマッピングの設定を削除する場合は「ポートマッピング設定一覧」で「削除」を選択後、メイン画面の「設定」ボタンをクリックしてください。

ポートマッピング設定一覧

インターフェース	プロトコル	ポート番号	ローカルホスト		有効／削除 ?
			IP アドレス	MAC アドレス	
PPPoA	TCP	2000 ～ 3000	指定しない	指定しない	有効 有効 削除

5-2. ブリッジモードで使用する

本商品には、ルータモードとブリッジモードの 2 つの動作モードがあります。ご入手時はルータモードになっています。ルータモード時で特定のネットワークアプリケーションやネットワークゲームがご使用になれないときはブリッジモードにすることにより対応可能となることがあります。
ルータモードでは、IPマスカレード機能を使用することによって、複数のパソコンを同時にインターネットに接続することができますが、ブリッジモードでは1台のみインターネットに接続可能です。

パソコンの設定を行う ※本書の『2. パソコンのネットワークを設定する』(21ページ)を参照してください。

本商品に Web ブラウザでログインする ※本書の『4-1. Web ブラウザでログインする』(34ページ)を参照してください。

本商品を Web ブラウザでブリッジモードに切り替える ※本書の『5-2. ブリッジモードで使用する』(50ページ)を参照してください。

本商品の設定を保存する ※本書の『4-3. 設定をセーブ・リブートする』(41ページ)を参照してください。

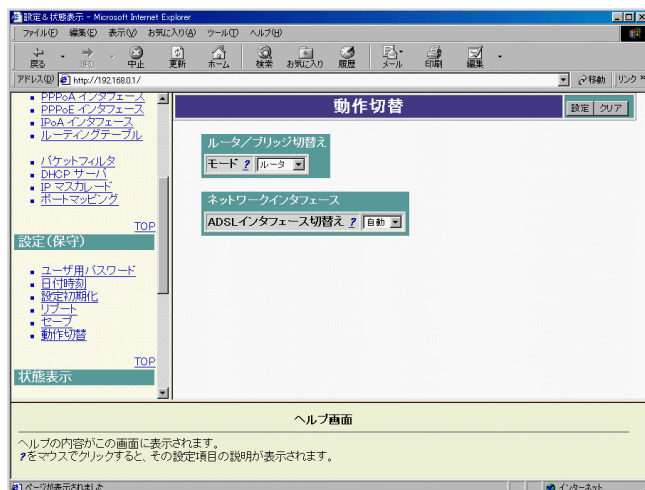
インターネットに接続する ※本書の『5. インターネットに接続する』(46ページ)を参照してください。

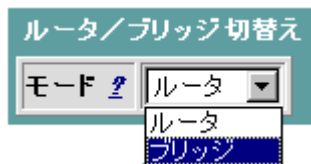
ブリッジのためのパソコン設定

本商品は、ご入手時ルータモードに設定されています。本書の『2. パソコンのネットワークを設定する』(21ページ以降)で説明しているパソコンの設定は本商品をルータモードで動作させ、本商品から IP アドレスを自動的に受け取る場合の設定です。
本商品をブリッジモードで動作させる場合、IP アドレスの自動割り当ては行われません。そのため、パソコンに固定的なアドレスを設定する必要があります。本書の『2. パソコンのネットワークを設定する』(21ページ以降)の各項の最後で【ブリッジモードでお使いの場合】と記載されている方法で設定してください。
また、**ブリッジモードでインターネット接続する場合、パソコンに専用ドライバをインストール、設定する必要があります。**

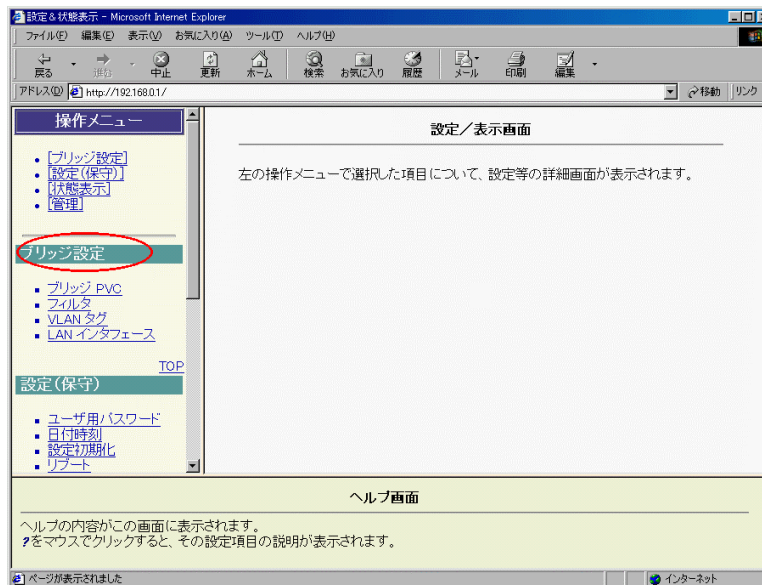
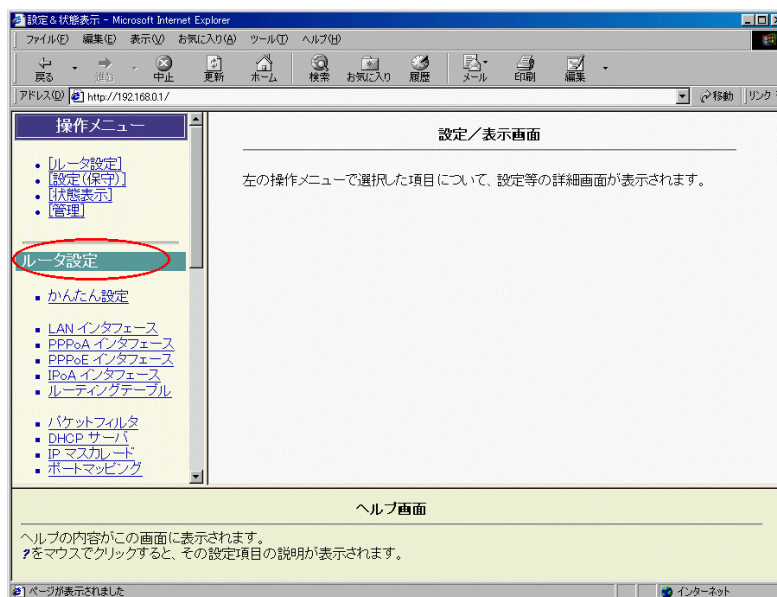
ブリッジモードへの切り替え

本書『4-1. Web ブラウザでログインする』(34ページ)の手順で、本商品に Web ブラウザでログインします。
ルータモードとブリッジモードの切り替えは、「動作切替」画面でおこないます。
以下に、その設定例を示します。

① メニュー画面より「動作切替」をクリックします。
　クリック後、メイン画面に「動作切替」の設定画面が表示されます。

※画面は AtermDR35FH の場合です。

② 「ルータ／ブリッジ切替え」の選択ボックスから、「ブリッジ」を選択します。

③ 設定終了後、「設定」ボタンをクリックします。
④ メイン画面にセーブ画面が表示されますので、「設定をセーブする」をクリックします。
⑤ 本商品をリブートします。(本書の『4-3. 設定をセーブ・リブートする』(41ページ)を参照してください。)
⑥ リブート後は、ブリッジモードで動作します。

ルータモード／ブリッジモードの確認

① 本商品にWebブラウザでログインしてブリッジモードで動作しているかを確認してください。
ブリッジモードの場合、メニュー画面に「ブリッジ設定」の項目が表示されます。

ルータモードの場合、メニュー画面に「ルータ設定」の項目が表示されます。

ルータモードへの切り替え

ブリッジモードからルータモードへ戻すには、ブリッジモードへの切り替え手順と同様に、メニュー画面から「動作切替」画面をクリックして、「ルータ／ブリッジ切替え」の選択ボックスから「ルータ」を選択し、設定セーブ後、リブートします。

5-3. パケットフィルタの初期設定について

本商品では、外部からの攻撃や不正侵入を防御するためにあらかじめ工場出荷時状態から、以下のパケットフィルタリング設定が行われています。インターネットへの接続には影響がございませんので、そのままの状態でご使用することをお奨めします。

① NetBIOS のフィルタリングについて

・適用インターフェース　:本製品の入力全インタフェース(LAN、PPPoA、PPPoE、IPoA)
・プロトコル　:TCP、UDP
・ポート番号　:137、138、139(NetBIOS)

TCP/IP のポート 137,138,139(NetBIOS over TCP/IP)は、 Microsoft® 製品のネットワーク環境で便利になるように使われています。
通常、Microsoft® の NetBIOS ネットワーキングテクノロジはインターネットへの接続や、インターネットサービスを使用するためには必要ありません。

LAN (ローカル・エリア・ネットワーク)環境やイントラネット環境において、Windows® のネットワーク環境をご使用になる場合このフィルタリングの設定を削除する必要があります。ご注意ください。

② その他のポート番号へのフィルタリングについて

・適用インターフェース　:本製品の WAN 側入力全インタフェース(PPPoA、PPPoE、IPoA)
・プロトコル　:TCP、UDP
・ポート番号　:7(Echo)、21(FTP)、23(TELNET)、69(TFTP)、80(HTTP)、161(SNMP)

(注)お客様が FTP、HTTP サーバなど設置する場合は21(FTP)、80(HTTP)ポートのフィルタリング設定の削除と、ポートマッピングの設定が必要になります。
詳しくは、『詳細ガイド』の「2-10　パケットフィルタについて」、「2-13　ポートマッピングについて」を参照してください。

(注)7(Echo)のフィルタリングは AtermDR30F/GS および DR35FH/GS のみとなります。

6. 付録

6-1. 故障かな?と思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。
該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してみてください。
入手元またはAtermインフォメーションセンターでもお問い合わせにお答えしております。

症　状	原 因 と 対 策
POWER ランプが点灯しない	電源アダプタが外れていないか確認してください。
	電源スイッチが入っていることを確認してください。
	電源アダプタがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。(パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。)
	電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタを電源コンセントから抜き、入手元に修理をご依頼ください。
LINE ランプが点灯しない	ADSL 回線の開通工事が完了していないことが考えられます。ADSL 接続業者に開通工事が完了しているか確認してください。
	電話機が複数台接続されているときは、1台にしてください。
	セキュリティアダプタやガス検知器などが接続されている場合は、ADSL 回線と併用できない場合があります。詳しくは、管理会社、住宅管理会社などへお問い合わせください。
	お客様の設置場所がNTT局舎から離れている場合は、お使いになれないことがあります。

症　状	原因と対策
LAN ランプが点灯しない	本商品とパソコンが正しくEthernet ケーブルで接続されているか、またはパソコンの電源が入っているか確認してください。また、Ethernet ケーブルはストレートケーブルをお使いになっているか確認してください。
	パソコンが本商品の Ethernet ポートに接続されているかを確認してください。
	接続している Ethernet ケーブルが、ショートもしくは断線などしていないか、または、規格を満たしているかを確認してください。
	パソコンまたは HUB の Ethernet ポートが、10BASE-T（全二重固定）しかサポートしていない場合は Web 設定画面の『設定（保守）動作切替画面』にて、LAN インタフェース切替（DR30F のみ表示）「全二重」を設定してください。
	パソコンが本商品の Ethernet ポートに接続されているかを確認してください。
数分間待っても、LINE ランプが点滅している	接続している Ethernet ケーブルが、ショートもしくは断線などしていないか、または、規格を満たしているかを確認してください。
POWER/LINE/LAN ランプは点灯しているが、データ通信ができない	PPP のランプを確認してください。 ・PPP が遅い点滅 →ユーザ名とパスワードを再度確認してください。 ・PPP が速い点滅 →ADSL サービス選択の設定を再度確認してください。
	PPP のランプが点灯している場合は、パソコンの設定に問題があることが考えられます。パソコンが正しく設定されているか確認してください。
LINE ランプが早点滅後、点灯せずに遅点滅に戻ってしまう	ウォールジャック（モジュラージャック）からスプリッタ間でブランチ（分岐）させていないか確認してください。
	モジュラージャックが複数ある場合、電話機を繋げる際には、スプリッタの増設が必要になる場合があります。また、スプリッタを増設してもうまくいかない場合は、宅内工事が必要になる場合があります。
設定画面が開かない	お使いの Web ブラウザ設定にて、プロキシサーバを使用するになっている場合、本商品の Web 画面が表示されないことがあります。プロキシサーバを使用しないに設定してください。

症　状	原 因 と 対 策
パソコンから本商品に接続できない	LANランプが点灯していることを確認してください。LANランプが点灯していない場合は、再度本書の『3. 設置・接続する』(26ページ)を参照して配線の確認をしてください。また、パソコンがLANカード/ボードを認識しているかを確認してください。
	パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、『2. パソコンのネットワークを設定する』(21ページ)を参照して確認してください。
ADSL接続が時々切れてしまう	設置場所がNTT局舎から離れていたり、幹線道路や鉄道のそばだと、通信が切断される場合があります。
	冷蔵庫・TV・電子レンジなど、ノイズを発生させる要因がある機器の上、横に置かれている場合はその機器から離してください。
	セキュリティー装置が設置されていませんか？ 宅内にセキュリティー装置が設置されている場合は別途配線工事が必要になる場合があります。特に集合住宅の場合は、管理会社、管理組合にお問い合わせください。(セコム・火災報知器・ガス検知器など)
	保安器の問題の可能性があります。 保安器の一部(6PTという種類)では、電話着信時にADSL回線が切断もしくは著しく速度低下することが確認されています。NTT113番に電話をしていただき保安器の種類を確認してください。また、6PT保安器の場合は、ADSL不適合のため、保安器の交換が必要になる場合があります。詳しくはNTT113番にお問い合わせください。
OAM試験ループバックテストで失敗してしまった	LINEランプが点灯(ADSL回線とリンクがとれている)していないとループバックテストは必ず失敗します。LINEランプが点灯するように、再度「**3. 設置・接続する**」を参照して配線の確認をしてください。 Atermの設定はあっていますか？正しく設定していないとループバックテストは行えません。「**4. 設定する**」を参照して、設定の確認をしてください。

症　状	原 因 と 対 策
ADSL回線速度を見たが速度があまり出ない	冷蔵庫・TV・電子レンジなど、ノイズを発生させる要因がある機器の上、横などに置かれている場合はその機器から離して試してください。
	設置場所がNTT局舎から離れていたり、幹線道路や鉄道のそばだと、速度があまり出ない場合があります。
	ADSL回線にアマチュア無線、CB無線、放送、電車、電力線などのノイズが入った場合、通信速度が遅くなることがあります。
	電話線はノイズを拾いやすいのでモジュラージャックとPCの間隔がある場合は、長いLANケーブルを使用し電話線はなるべく短くなるようにしてください。
	TVなどの電源からのノイズが混入してモデムが不安定になっている可能性があります。AC電源のコンセントを変えてみてください。

6-2. お問い合わせ・アフターサービス

Atermシリーズのお問い合わせ先や製品情報などをご案内します。

◆インフォメーションサービス

Atermの機能や取り扱い方法などでご不明な点がありましたら、下記へお問い合わせください。

■Aterm（エーターム）インフォメーションセンター

フリーダイヤル	0120-36-1138
代表番号	0471-85-4761
お問い合わせ受付時間	午前9時～午後6時（月～金曜日）
	午前9時～午後5時（土曜日）

（日・祝日、年末年始、当社の休日はお休みさせていただきます）

●お問い合わせになるときには、次のことをお伝えください。

○お名前
○電話番号
○Atermの機種名「DR30F/GS」または「DR30F/CE」または「DR35FH/GS」または「DR35FH/CE」
○接続業者およびプロバイダ
○パソコンの機種名
○ご使用のOS
○詳しい症状、メッセージが表示されていたらその内容、など

●パソコンの設置や操作方法などについては、パソコンのサポートセンターなどにお問い合わせください

●プロバイダの接続条件や設定などについては、プロバイダにお問い合わせください。

◆ホームページ『Aterm Station』

Atermシリーズのオンライン情報サービスとして、インターネットでホームページ『Aterm Station』を開設しています。

■主なメニュー

○オンラインユーザ登録
○最新ユーティリティのダウンロード
○Atermシリーズ最新ラインアップ情報
○キャンペーン情報、イベント方法
○登録ユーザ向けサポート情報提供　　など

■Aterm Stationホームページアドレス

http://aterm.cplaza.ne.jp/

●接続可能ADSL事業者は、ホームページの「接続確認済ブロードバンド事業者リスト」で確認できます。

6-3. 製品仕様

<table>
<tr><th colspan="5">■ ハードウェア仕様</th></tr>
<tr><td colspan="3">項目</td><td>DR30F</td><td>DR35FH</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ADSL
インタフェース</td><td colspan="2">物理インタフェース</td><td colspan="2">6 ピンモジュラージャック(RJ-11)</td></tr>
<tr><td colspan="2">伝送方式</td><td colspan="2">ITU-T G.992.1(G.dmt)/G.992.2(G.lite) Annex C（自動認識）</td></tr>
<tr><td colspan="2">カプセル化</td><td colspan="2">LLC、VC マルチプレクス</td></tr>
<tr><td colspan="2">伝送速度</td><td colspan="2">G.dmt：下り最大 8Mbps／上り最大 1Mbps
G.lite ：下り最大 1.5Mbps／上り最大 512kbps</td></tr>
<tr><td rowspan="6">LAN
インタフェース</td><td colspan="2">物理インタフェース</td><td colspan="2">8 ピンモジュラージャック(RJ-45)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ポート数</td><td>1ポート</td><td>4ポート</td></tr>
<tr><td colspan="2">インタフェース</td><td>10BASE-T</td><td>100BASE-TX/10BASE-T スイッチング HUB</td></tr>
<tr><td colspan="2">伝送速度</td><td>10Mbps</td><td>100Mbps/10Mbps</td></tr>
<tr><td colspan="2">全二重／半二重</td><td>全二重／半二重
切替可</td><td>オートネゴシエーション</td></tr>
<tr><td colspan="2">リバーススイッチ</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ヒューマン
インタフェース</td><td rowspan="5">状態表示ランプ</td><td>POWER</td><td colspan="2">電源通電時点灯</td></tr>
<tr><td>DATA</td><td colspan="2">データ通信時点灯</td></tr>
<tr><td>LAN</td><td colspan="2">LAN リンクアップ時点灯</td></tr>
<tr><td>PPP</td><td colspan="2">PPP セッション確立時点灯</td></tr>
<tr><td>LINE</td><td colspan="2">ADSL リンク確立時点灯</td></tr>
<tr><td colspan="3">動作環境</td><td colspan="2">温度 5～40℃ 湿度 10～90%(結露しないこと)</td></tr>
<tr><td colspan="3">電源</td><td colspan="2">AC100V±10%</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電力</td><td colspan="2">最大約 14W</td></tr>
<tr><td colspan="3">外形寸法</td><td colspan="2">約 31(W)×172(D)×172(H)mm(突起部分を除く)</td></tr>
<tr><td colspan="3">質量</td><td colspan="2">0.9kg（AC アダプタを含む）</td></tr>
<tr><td colspan="3">VCCI</td><td colspan="2">VCCI クラス B</td></tr>
</table>

■ソフトウェア仕様		
ルータ機能	WAN プロトコル	PPPoA（PPP over ATM）、PPPoE（PPP over Ethernet)、IPoA（IP over ATM）
	PPP 認証	相手先に合わせる／PAP／CHAP／認証なし
	PPP 接続／切断	自動接続
	ルーティング方式	スタティックルーティング（最大 40 経路）、デフォルトルート設定可
	マルチサブネット機能	LAN 上に最大32個のサブネットを定義し、IP マスカレードの利用が可能
	セキュリティ機能	フィルタリング／ポートマッピング／IPマスカレード機能
	DHCP サーバ	あり
	ProxyDNS 機能	DNS 代理応答（DNS キャッシュ機能つき）
	IP パケットフィルタリング	プロトコル種別、パケット方向、送信元/宛先ポート番号範囲指定、送信元/宛先 IP アドレス範囲指定、TCP フラグによりフィルタリング
	IP マスカレード	あり（最大 4096 セッション）
	ポートマッピング	ポートマッピング機能（IP アドレス/MAC アドレス指定）およびポート無変換機能
ブリッジ機能	ブリッジ方式	IEEE802.1d ラーニングブリッジ（スパニングツリー未サポート）
	WAN カプセル化方式	IETF RFC1483/RFC2684 Ethernet/802.3PDU Bridge FCS なし（LLC カプセル化）
WWW ブラウザ設定		あり（かんたん設定／詳細設定）
システムログ機能		システムエラーログ、ファイアウォールエラーログ、回線エラーログ
ファームウェアバージョンアップ		可

用語解説

用　語	解　説
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line の略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信技術で、すでに一般家庭に普及している電話線を使ってインターネットへの高速で安価な常時接続環境を提供する。
bps	bit per second の略。 通信速度の基本単位。秒当たりに伝送されるビット数。
DNS (Domain Name System)	ホスト名とIPアドレスを対応させるシステム。
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するためのアドレス。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値をピリオドで区切って表現する。 （例：192.168.0.10）
LAN	Local Area Network の略。 1 つの建物内などに接続された複数のパソコンやプリンタなどで構成されている小規模なコンピュータネットワークのことを指す。
PPP	Point to Point Protocol の略。 遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 回線を使ってインターネット接続するために使われる。
PPPoE	PPP over Ethernet の略。 Ethernet 上で PPP の機能を使用するためのプロトコル。 Ethernet 上でダイヤルアップ接続と同じように利用者のユーザー名やパスワードのチェックを行う。最近では、 ADSL などの常時接続型サービスで利用されることが増えている。
PPPoA	PPP over ATM の略。 Ethernet 上で PPP の機能を使用するためのプロトコル。 Ethernet 上でダイヤルアップ接続と同じように利用者のユーザー名やパスワードのチェックを行う。最近では、 ADSL などの常時接続型サービスで利用されることが増えている。

索引

Aterm Station ホームページアドレス

http://aterm.cplaza.ne.jp/　（平成14年1月現在）

商品構成、資料請求、バージョンアップ、サポートデスクなど、Aterm についての役立つ情報を掲載しています。

Aterm（エーターム）インフォメーションセンター

Aterm の機能や取り扱い方法などでご不明な点がありましたらお問い合わせください。

フリーダイヤル　０１２０－３６－１１３８
　　　　　　　　０４７１－８５－４７６１
お問い合わせ受付時間　午前9時～午後6時（月～金曜日）
　　　　　　　　　　　午前9時～午後5時（土曜日）
（日曜日、祝日、年末年始、当社の休日はお休みさせていただきます）

（平成14年1月現在）

お願い

●パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします

●ADSL などの回線接続の条件などについてのお問い合わせは、各通信事業者またはプロバイダへお願いいたします。

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

NECアクセステクニカ株式会社

ND -22951（J）
第2版
2002年1月